

我がまちを生きる
歴史文化基本構想策定フォーラム

町の文化財行政のマスタープランとなる歴史文化基本構想の策定するためのフォーラムを5月13日にジョイ・じょぐらで開催し、町内外から約100人が参加しました。

基調講演 上ノ国のアイヌ文化と国立アイヌ民族博物館

(文化庁・内田祐一氏)



国立アイヌ民族博物館の概要のほか、上ノ国のアイヌ文化

についても触れ、このうち町で所蔵するアイヌ服の一部が樺太アイヌが製作した可能性が高いと述べていました。

報告① 私たちが調べた

勝山館跡

(上ノ国中学校2年生・

波佐谷ちひろさん、目黒紗菜さん)



平成28年に総合学習の一環として行った勝山館跡の調べ学習



中学生が作成した壁新聞

上ノ国高校3年生が作成した上ノ国カルタ(抜粋)



(上ノ国高等学校3年生・高橋 舜さん、川島佳子さん) 上ノ国かるたづくりについて報告し、町の名所や気づかなかった新たな歴史について学んだことが話されました。

あ 天の川
織姫彦星
あいの場所

そ 祖廟詣で
三社に参る
お殿様

ち 中外の
昔栄えた
鉾山跡

報告③ つぼっこ汁の紹介

(調査部会・品田俊子部員) 汐吹地区で食べられている「つぼっこ汁」を調理・試食を



つぼっこ汁を試食する参加者

報告④ 上ノ国の未来に残したいもの

(調査部会・岩田靖部会長)

小砂子地区のけんちん汁など小砂子から木ノ子地区にかけて情報収集した地域文化の一部を紹介しました。

報告⑤ 遺跡で使われた木製品の樹種

(策定委員会・小林和貴委員)

勝山館跡出土の木製遺物の78割、旧笹浪家住宅横出土の木製遺物の52割でヒバが使われていることが報告されました。勝山館が機能していた頃は、館周辺にヒバが生育していた可能性があるとのことでした。

来場者が選ぶマイ文化財

フォーラムでは、来場者が選ぶマイ文化財調査を実施しました。その結果、人口が集中する大留周辺の他、湯ノ岱地区や汐吹・石崎地区などの海方面で多くのマイ文化財の情報が提示されました。今後、湯ノ岱地区や海岸方面で現地調査を実施することとしました。

また、グループワークでは、各グループでディスカッションを行い、追加すべきマイ文化財を確認しました。



上ノ国の文化について意見交換中

参加者アンケートから

中高生の発表に感動した(70代女性) 試食や展示もあり飽きずに楽しむことができた(40代男性) 上ノ国の文化を深く知ることができた(30代男性) もっと知りたいと思った(10代未満女性)

町内小学校の運動会の「コマ



あいにくの天候のため屋内での開催も児童はハッスル。



晴天のグラウンドを元気に駆ける児童。



待ちに待った運動会。保護者も児童とともに上ノ国音頭を舞う。